アメリカチョウゲンボウに対する HBCD の影響に関する情報収集

文献	① Marteinson <i>et al.</i> 2010	② Fernie <i>et al.</i> 2010	③ Fernie <i>et al.</i> 2011	4 Marteinson <i>et al.</i> 2011	⑤ Marteinson <i>et al.</i> 2012
概要	オスのアメリカチョウゲン ボウに HBCD を摂餌投与し、 繁殖(生殖機能)に及ぼす 影響を調査。	アメリカチョウゲンボウの つがいに HBCD を摂餌投与 し、産卵数、卵重量、卵殻 の厚さ等を調査。	アメリカチョウゲンボウの つがいに HBCD を摂餌投与 し、繁殖成功率、卵中の HBCD 異性体の残留を調査。	オスのアメリカチョウゲン ボウに HBCD を摂餌投与し、 繁殖(生殖機能)に及ぼす 影響を調査。	アメリカチョウゲンボウの つがいに HBCD を摂餌投与 し、求愛、抱卵、飼育行動 への影響を調査。
試験方法	 ・第1群は3週間、第2群は平均75日間のばく露期間。 ・紅花油に溶かしたHBCD 54.4ng/g ww/day を餌に注射し、餌経由で投与。 	射し、餌経由で投与。 ・暴露期間は、つがい形成	 紅花油に溶かした HBCD 0.51µg/g bw/dayⁱを餌に 注射し、餌経由で投与。 暴露期間は、つがい形成前開始3週間前から、最初の雛が孵化する2日前まで平均75日間。 	・つがいと非つがいの2試験区で実施。紅花油に溶かしたHBCD 0.51µg/g bw/dayを餌に注射し、餌経由で投与。・非つがいのオスの暴露期間は3週間。・つがいのオスの暴露期間は、つがい形成前開始3週間前から、最初の雛が孵化する2日前まで平均75日間。	 紅花油に溶かした HBCD 0.51µg/g bw/day を餌に注射し、餌経由で投与。 暴露期間はつがい形成前開始3週間前から、最初の雛が孵化する2日前まで平均75日間。
試験結果	・第1群では精子を産生している精細管数及び血中テストステロン濃度の上昇と相関して精巣の肥大が見られた。 ・第2群では、求愛行動が低下し、テストステロン濃度は産卵が始まる求愛時期終了まで上昇が見られた。	・産卵時期が早く、産卵数の増加が見られた。 ・卵経由でHBCDに暴露された若鳥は成長が遅く、成長期が長期化した。 ・餌の供給などの親の飼育行動(特にオスの)の質的な低下が見られた。	 ・卵に残留したα-HBCDの濃度は163.5±75.1ng/gであり、β-体やγ-体より10倍高かった。 ・産卵開始時期が早まるとともに、卵の容積、重量は減少し、産卵数は増加した。 	・非つがいのオスでは精巣が肥大化し、精子の精精を含むった。中の精細胞をあったン濃度が増加傾向であってン濃度の上昇が見られた。で、カーがいにおいてテスでは、スト、カーが出りにおが上昇し、カーが離及び総サイロキシーが離及び総サイロキシーを確なない。	・両性とも求愛期間中の求愛の鳴きかわしが減少し、メスの求愛ディスプレイが減少した。両性とも求愛期の行動の活発化が低下する傾向が見られた。 ・オスの求愛行動の低下は、メスの求愛行動の低下及び卵質量の低下と相関し

文献	① Marteinson <i>et al.</i> 2010	② Fernie <i>et al.</i> 2010	③ Fernie <i>et al.</i> 2011	4 Marteinson <i>et al.</i> 2011	⑤ Marteinson <i>et al.</i> 2012
				ン (T4) は一貫して減少した。	でいた。 ・抱卵期では、中期に巣の温度低下が見られた。 ・オスは、雛の飼育行動、飼育時の巣箱滞在、求取をディスプレイ、餌摂取といた重要な親行動の低下が見られた。 ・メスについては、オスの行動を埋め合わせるように、より頻繁にこれらの行動が見られた。
備考	リスクプロファイル引用	リスクプロファイル引用			

- ① Marteinson *et al.* Evidence of endocrine disruption and testicular changes in male American kestrels (Falco sparverius) exposed to technical HBCD. Organohalogen Compaunds. 2010; (72) 279-280.
- ② Fernie et al. Change in reproduction and behavior of American kestrels (Falco sparverius) associated with exposure to environmentally relevant concentrations of technical HBCD. Organohalogen Compaunds. 2010; (72) 281-282.
- ③ Fernie *et al.* Reproductive changes in Amercan kestrels (*Falco sparverius*) in relation to exposure to technical Hecabromocyclododecane flame retardant. Environmental Toxicology and Chemistry. 2011; (30) 2570-2575.
- 4 Marteinson *et al.* Diet exposure to technical hexabromocyclododecane (HBCD) affects testes and circulating testosterone and thyroxine levelsin American kestrels (*Falco sparverius*). Environmental Research. 2011; (111) 1116-1123.
- (Falco sparverius) Chemosphere. 2012; (89) 1077-1083.

i 餌中濃度 0.8ppm をアメリカチョウゲンボウの平均体重 110g、1日の平均摂餌量 70.7g で換算すると、体重当たり HBCD 摂取量は 0.51ug/g bw/day となる。